

「薬疹関連遺伝子の探索」について

研究責任者 蓮田 泰誠 チームリーダー
所属 理化学研究所 生命医科学研究センター
ファーマコゲノミクス研究チーム

概要（目的・利用方法を含む）

私たちは、薬疹関連遺伝子の研究を行っています。薬疹は、薬によって起こる副作用であり、皮膚の広い範囲が赤くなる、高熱（38°C以上）、のどの痛み、目の充血、くちびるのただれなどの症状が見られます。重症の薬疹としては、スティーブンス・ジョンソン症候群（SJS）、中毒性表皮壊死融解症（TEN）、薬剤性過敏症症候群（DIHS）などが知られていますが、これらの薬疹では、皮膚のみが障害されるだけではなく、しばしば、肝臓などの臓器障害を伴って重症化し、眼・肺などに後遺症が残ることがあります。

この研究では、薬疹という副作用が、生まれながらの体質と関係するかどうかを、血液などから取り出した遺伝子を調べることによって明らかにします。その成果とともに、薬を服用する前に、薬疹のリスクを予測することにより、より安全で適切な薬物治療ができるようにすることを目指しています。

1. 研究の対象となる方

本研究は、以下の方を対象としております。

2005年～2023年において、3.の研究課題への参加に同意された方で、薬疹を起こした方、または同じ薬剤を服用し薬疹を起こさなかつた方。

2. 研究に用いる試料・情報の種類

DNA検体およびカルテから収集された診療情報

3. 理化学研究所が外部機関から試料・情報の提供を受ける場合

本研究では以下の研究課題において、薬疹症例または薬疹を起こさなかつた症例に対し、あなたもしくは代理人の文書による同意の下収集された試料・情報が、あなたのものであることが分からないように処理された上で理化学研究所に提供されます。

研究課題名： 「薬疹の遺伝子多型解析」

機関名： 厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）「重症多形滲出性紅斑に関する調査研究」参加施設

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター

昭和大学医学部皮膚科学

横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学

島根大学医学部皮膚科学

奈良県立医科大学医学部皮膚科学
京都大学大学院医学系研究科
磐田市立総合病院皮膚科
慶應義塾大学医学部皮膚科学
京都府立医科大学大学院医学研究科視覚機能再生外科学
新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞医学専攻細胞機能講座
皮膚科学分野
杏林大学医学部皮膚科学

4. 理化学研究所から外部機関へ試料・情報を提供する場合

本研究において、薬疹症例または薬疹を起こさなかつた症例の遺伝子を調べた結果が、あなたのものであることが分からないように処理された上で理化学研究所から以下の共同研究機関に提供されます。

5. 研究期間

2005年3月28日～2028年3月31日

6. 研究組織

厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）「重症多形滲出性紅斑に関する調査研究」に参加する以下の施設において、薬疹症例または薬疹を起こさなかつた症例に対し、2.に記載された試料・情報を用います。

■ 研究代表機関および研究代表者：

理化学研究所生命医科学研究センター

蓮田 泰誠

■ 共同研究機関および研究責任者：

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター	藤山 幹子
昭和大学医学部皮膚科学	末木 博彦
横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学	山口 由衣
島根大学医学部皮膚科学	新原 寛之
奈良県立医科大学医学部皮膚科学	浅田 秀夫
京都大学大学院医学系研究科 皮膚科学	桟島 健治
磐田市立総合病院皮膚科	橋爪 秀夫
慶應義塾大学医学部皮膚科学	高橋 勇人
京都府立医科大学大学院医学研究科視覚機能再生外科学	外園 千恵
新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞医学専攻細胞機能講座皮膚科学分野	阿部 理一郎
杏林大学医学部皮膚科学	水川 良子

7. 研究参加の拒否について

試料・情報が本研究に用いられることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には、提供者からいただいたものと分かる試料・情報については研究への使用を拒否することができますので、8.の連絡先までお知らせください。その場合も提供者に不利益が生じることはありません。

8. お問い合わせ先

<お問い合わせおよび研究への利用を拒否する場合の連絡先>

担当者： 蓬田 泰誠（むしろだ たいせい）

所属： 理化学研究所生命医科学研究センター

ファーマコゲノミクス研究チーム

電話番号： 045-503-9597

住所： 〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-7-22